

2020年3月6日（金）

日本キリスト改革派教会の皆様

大会議長 川杉安美(草加松原伝道所)

新型コロナウイルスによる感染が拡大している状況が続いています。この感染については、不特定多数の人が閉鎖空間で長時間近い位置にいる場合にリスクが高まると言われています。それぞれの教会で、様々に対策が取られ、ご苦労されていることと思います。主の恵みと導きと助けがありますようお祈りいたします。

大会執事活動委員会が「新型コロナウイルス感染症に伴う注意喚起」と同（二）を配布してくださいました。さらに、大会執事活動委員会と大会常任書記団合同で、同（三）が配布されることになっています。今後も委員会と書記団は連絡を取り合いながら、情報収集と情報発信をし、大会的な対応を続けてくださいます。それらを参考にして、各個教会でもさらに適切な対応をとっていきたく願っています。

今後、どのようになっていくか、終息の道筋は確かになっていません。感染はなお広がっています。心配や不安もあります。また、誤った情報が広められたり、いたずらに不安をあおるようなことも起こっています。

そのような状況の中で、あらためて「日本キリスト改革派教会創立七十周年記念宣言」において宣言した「福音に生きる教会」の、特に（礼拝の生命であるキリスト）（牧会的共同体）（世に仕える教会）を覚えさせられます。あの宣言では、東日本大震災の経験を踏まえながら、「福音の喜びあふれる共同体を形成することを」誓いました。現在直面している大きな課題に取り組みながら、あのよう宣言した教会の姿をあらためて顧み、この状況の中でますますそれを具現していくようにと、主に導かれているのではないかと思われています。導いてくださる主御自身が、「あなたがたは世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている」（ヨハネ16：33）とおっしゃり、また「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」（マタイ28：20）と約束して下さりながら。

また、祈りを豊かにしていきたいと願います。昨年、大韓イエス教長老会高神と大韓イエス教長老会合同派のそれぞれの総会の問安に行き、大変暖かい歓迎を受けました。大変な状況にある韓国の兄弟姉妹のことを覚えます。あるいは中国やアメリカ、南アフリカ、世界のためにも祈っていききたいものです。医療関係者、様々な形でこの問題のために労する方々のために祈りたいと思います。このことで差別を受けたり、弱い立場にある方々のことを覚えたいと思います。感染された方々や亡くなられた方々のご遺族のことも覚えたいと思います。

この出来事を通して、教会が練り清められ、信仰の姿勢が深められますように、主の御栄光が示され御名が崇められますように、兄弟姉妹の皆さんに主からの平和がありますように、祈りつつ。